

必ずお読み下さい！

取扱説明書 補足資料

医学・看護教育用シミュレータ 循環ポンプの変更に伴う取扱説明書

このたびは、当社の医学・看護教育用シミュレータをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●循環ポンプの回転方向切換スイッチ部分が仕様変更されました。

●この取扱説明書にしたがって、正しくご使用ください。

仕様及び各部名称

●各部名称



●寸法、重量

寸法：約W15×D23×H15cm（突起部を含まず）

重量：約1.0Kg

●仕様

定格電力：最大2W

電源電圧：AC100V～240V 50/60Hz

●使用環境

海拔2,000m以下の屋内で使用してください。

温度 10℃～40℃

湿度 80%以下（ただし結露しないこと）



注意

- ・8時間以上の連続運転はしないでください。
- ・ポンプに接続したチューブを折り曲げたり、上に物をおいて模擬血液の流れを妨げないでください。
- ・ポンプは精密機械ですので、強い衝撃を与えないでください。
- ・もし異常が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
- 原因が分からない場合は、お買い上げの販売店、もしくは(株)京都科学まで御連絡ください。
- ・使用後は、模擬血液を完全に排出し、直射日光、高温多湿を避けて室温で保管してください。

1 準備 (1)

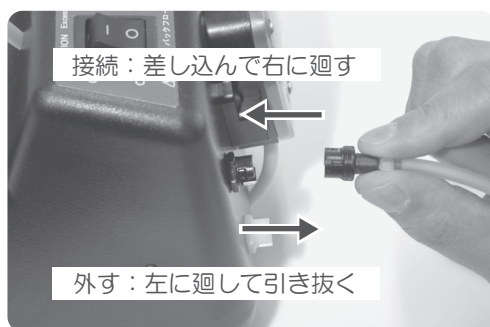
●広口ビンにチューブをセットする



- ①模擬血液を容器に入れ、広口ビンをポンプのホルダーにセットします。
- ②ポンプから出ている吸込チューブと排水チューブを広口ビンの口に入れ、両チューブの先端が模擬血液の水面から約3cmより下にあることを確認してください。

1 準備 (2)

●チューブソケットの接続



●接続

循環ポンプ前面のソケット（黒・白）に腕モデルから出ている2本のチューブプラグ（黒・白）を差し込んで右に廻し固定します。
（黒-黒／白-白をつなぎます）

●外し方

チューブプラグをつまみ、左に廻してから引き抜きます。

2 実習手順



① Normal（ノーマル）側での採血実習

回転方向切替スイッチがNormal（ノーマル）になっていることを確認して電源をON（－）にし、腕モデル内のチューブに模擬血液を循環させて実習を行います。

② Backflow(バックフロー) 側での逆血の確認実習

回転方向切替スイッチを①Normal（ノーマル）側からBackflow(バックフロー) 側に切り替えて血管に穿刺してください。確認後は、ノーマル側に戻してください。

※繰り返し穿刺されたパッドで、バックフローを連続運転すると、針穴より模擬血液が漏れ出すことがあります。

3 後片付け

●チューブ内の模擬血液を排出する



①使用後は、電源スイッチをONにしたまま吸込チューブを広口ビンから静かに出してください。

（乱暴に扱うと模擬血液がはねて、衣服や他周辺の機材を汚す危険性があります）

②排水チューブから模擬血液が排出されなくなったら電源スイッチをOFFにし、ピンホルダーから外してください。

※ポンプを保管するときは、吸込チューブ、排水チューブ内の模擬血液を排水後、吸込チューブから水を吸わせて洗浄しておく、チューブの劣化を防ぐため保管できます。



株式会社 京都科学

URL ● <http://www.kyotokagaku.com>

e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL :075-605-2510 (直通) FAX :075-605-2519

■東京支店

〒112-0002 東京都文京区小石川5丁目20-4
TEL :03-3817-8071 (直通) FAX :03-3817-8075